

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月1日

上場会社名 **株式会社 ゼンショーホールディングス** 上場取引所 東
 コード番号 7550 URL <http://www.zensho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 小川 賢太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼CFO (氏名) 湯原 隆男 (TEL) 03 (6833) 1600
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	98,856	4.2	2,106	△56.8	1,803	△58.7	355	△49.9
24年3月期第1四半期	94,907	8.6	4,875	111.1	4,369	146.4	709	307.7

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 82百万円 △91.8(%) 24年3月期第1四半期 1,008百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	2	93	—	—
24年3月期第1四半期	5	86	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
25年3月期第1四半期	238,842		48,024		15.6		308 01	
24年3月期	235,981		49,066		16.2		316 59	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 37,294百万円 24年3月期 38,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
24年3月期	—	—	8	00	—	—	8	00	16 00
25年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	8	00	—	—	8	00	16 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	216,756	9.3	14,085	8.7	12,736	7.5	6,324	72.1	52	23
通期	436,124	8.2	27,327	30.1	24,737	28.2	12,337	302.0	101	89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	121,100,000株	24年3月期	121,100,000株
25年3月期1Q	23,315株	24年3月期	23,395株
25年3月期1Q	121,076,640株	24年3月期1Q	121,076,734株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（2012年4月1日から2012年6月30日まで）におけるわが国経済は、復興需要を背景に緩やかな景気回復の動きが見られたものの、海外景気の下振れリスクや円高、電力供給の制約に対する懸念など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、個人消費は緩やかな回復傾向にあるものの、原材料価格や電気・ガス等のエネルギーコストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、コア事業であります牛丼カテゴリーの「すき家」は、中長期的に高い水準で既存店売上高を維持（第1四半期の既存店売上高は2003年比で132.7%、2009年比で118.3%）しておりますが、前年比較においては東日本大震災からの早期復旧による増収の反動で、第1四半期の既存店売上高が93.6%と100%を下回って推移いたしました。加えて、米価格をはじめとする食材価格の上昇や防犯強化のための深夜時間の複数人体制による人件費の増加が主要因となり前年対比減益となっております。また、レストランカテゴリーの「ココス」・「サンデーサン」ならびに、出店を進めているファストフードカテゴリーの「はま寿司」は、概ね堅調に推移しております。

当第1四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、64店舗出店、10店舗退店等により、4,393店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高988億56百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益21億6百万円（同56.8%減）、経常利益18億3百万円（同58.7%減）、四半期純利益は3億55百万円（同49.9%減）となりました。

報告セグメントについては、当社はフード事業以外の報告セグメントが無いため、記載を省略しております。なお、フード事業における主要カテゴリー毎の状況は以下の通りです。

(牛丼カテゴリー)

牛丼カテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、50店舗出店、5店舗退店した結果、2,361店舗となりました。

株式会社ゼンショーが経営する郊外型ファミリー牛丼店の「すき家」では、新規出店および広告宣伝等によるブランド力の強化を行うとともに、2012年4月には、きんぴらの食感とごまの風味が特徴の「ごまだれきんぴら牛丼」（並盛380円）を、また5月には、すき家で元気な1日をスタートしていただきたいという考えのもと「たまごかけごはん朝食」（並盛200円）を新発売し、6月には、毎年ご好評をいただいております「うな丼」（並盛780円）の販売を開始するなど、既存の商品に加えて新商品やシーズナル商品を継続的に投入し、商品強化を行ってまいりました。そして、引き続きお客様に安全でおいしい商品を安心して召し上がっていただくため、品質管理の強化とサービス水準の向上に努めてまいりました。

株式会社なか卯が経営する和風牛丼・京風うどんの「なか卯」につきましては、季節限定商品の投入や既存商品のブラッシュアップによる商品力の強化と店舗販促の実施により、業績の向上に努めてまいりました。

以上の結果、牛丼カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、437億32百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

(レストランカテゴリー)

レストランカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、5店舗退店、グループの他の業態への転換を行った結果、1,570店舗となりました。

株式会社ココスジャパンが経営するスタンダードレストランの「ココス」につきましては、前期より取り組んでいる効果的な販促活動による売上高の確保や、労働生産性の改善等によるコストコントロールを継続的に行うとともに、店舗のサービス水準を向上させ、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社ビッグボーイジャパンが経営するハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」等につきましては、サラダバー・スूपバーの充実を図ると共にセットメニューの提案等を行い、業績の向上に努めてまいりました。

株式会社サンデーサンが経営する茹であげスパゲッティと手作りピッツアの「ジョリーパスタ」等につきましては、「パスタならジョリーパスタ」をテーマに、パスタ専門店の魅力をよりお客様へアピール出来るよう、パスタソースの改良や豊富な季節メニューの投入を行い、一層のおいしさを追求してまいりました。

株式会社華屋与兵衛が経営する和食レストランの「華屋与兵衛」につきましては、お客様の満足度の向上を図るため、安全・安心でおいしい商品の開発および店舗従業員の教育強化によるサービス水準の向上、労働生産性の改善等に努めてまいりました。

以上の結果、レストランカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、359億8百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

(ファストフードカテゴリー)

ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、14店舗出店、グループの他の業態からの転換を行った結果、462店舗となりました。以上の結果、ファストフードカテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、135億5百万円（前年同期比30.1%増）となりました。

(その他カテゴリー)

その他カテゴリーの当第1四半期連結累計期間の売上高は、57億10百万円（前年同期比10.0%減）となりました。主な内訳は、ピッツァ製造販売等の株式会社トロナジヤパン、醤油製造販売の株式会社サンビシヤ、機能会社としてグループの物流機能を担う株式会社グローバルフレッシュサプライ、備品ユニフォーム等を調達する株式会社グローバルテーブルサプライ等であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、64店舗の新規出店に伴う設備投資及び直接貿易の推進に伴う棚卸資産の増加等により、28億61百万円増加いたしました。

負債につきましては、新規出店のための借入金の増加等により39億2百万円増加いたしました。

純資産につきましては、配当金支払による利益剰余金の減少等により10億41百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2013年3月期（2012年4月1日～2013年3月31日）の業績予想につきましては、2012年5月9日公表の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,580	18,792
受取手形及び売掛金	4,774	4,138
商品及び製品	7,179	8,366
仕掛品	358	435
原材料及び貯蔵品	2,488	2,676
その他	10,935	11,586
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	44,317	45,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	141,312	142,857
減価償却累計額	△67,329	△68,704
建物及び構築物（純額）	73,982	74,152
機械装置及び運搬具	11,644	10,783
減価償却累計額	△6,049	△5,218
機械装置及び運搬具（純額）	5,594	5,564
その他	58,185	60,666
減価償却累計額	△26,102	△27,491
その他（純額）	32,083	33,174
有形固定資産合計	111,660	112,892
無形固定資産		
のれん	13,052	12,756
その他	5,260	4,998
無形固定資産合計	18,312	17,754
投資その他の資産		
投資有価証券	4,069	3,994
差入保証金	30,560	30,480
その他	26,907	27,536
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	61,532	62,007
固定資産合計	191,506	192,654
繰延資産	157	195
資産合計	235,981	238,842

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,067	10,753
短期借入金	5,397	5,505
1年内償還予定の社債	3,190	4,190
1年内返済予定の長期借入金	44,321	42,732
未払法人税等	6,366	723
引当金	1,463	666
その他	22,458	26,803
流動負債合計	94,264	91,374
固定負債		
社債	11,375	16,075
長期借入金	69,131	71,254
引当金	358	358
資産除去債務	1,267	1,289
その他	10,517	10,466
固定負債合計	92,649	99,443
負債合計	186,914	190,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,089	10,089
資本剰余金	10,642	10,642
利益剰余金	22,691	22,022
自己株式	△20	△20
株主資本合計	43,403	42,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,144	△1,190
繰延ヘッジ損益	△579	△580
為替換算調整勘定	△3,348	△3,669
その他の包括利益累計額合計	△5,071	△5,440
少数株主持分	10,734	10,730
純資産合計	49,066	48,024
負債純資産合計	235,981	238,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)
売上高	94,907	98,856
売上原価	32,941	36,060
売上総利益	61,966	62,796
販売費及び一般管理費	57,090	60,689
営業利益	4,875	2,106
営業外収益		
受取利息	64	94
受取配当金	78	84
受取賃貸料	190	85
その他	53	219
営業外収益合計	387	483
営業外費用		
支払利息	639	533
賃貸費用	169	80
その他	84	172
営業外費用合計	893	786
経常利益	4,369	1,803
特別利益		
固定資産売却益	0	0
関係会社株式売却益	1,196	—
その他	6	6
特別利益合計	1,203	6
特別損失		
固定資産除却損	114	30
その他	112	134
特別損失合計	226	164
税金等調整前四半期純利益	5,346	1,644
法人税、住民税及び事業税	2,333	998
過年度法人税等	1,974	—
法人税等調整額	119	191
法人税等合計	4,427	1,189
少数株主損益調整前四半期純利益	919	454
少数株主利益	209	98
四半期純利益	709	355

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	919	454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△115	△50
繰延ヘッジ損益	16	△0
為替換算調整勘定	188	△321
その他の包括利益合計	88	△372
四半期包括利益	1,008	82
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797	△12
少数株主に係る四半期包括利益	210	95

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自2011年4月1日 至2011年6月30日）

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自2012年4月1日 至2012年6月30日）

当社グループは、フード事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。